

ヘッドエンド装置内蔵用

入 力 分 波 器

品番 HDV-1002(JIS)
HDV-1102(EIA)

取 扱 説 明 書

DXアンテナ株式会社

このたびは、DXアンテナ製品をお買上げいただきまことにありがとうございます。
この装置を正しくご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みください。

目 次

1. 機 器 概 要.....	2
2. 特 長.....	3
3. 規格とブロックダイヤグラム.....	3
(1) 規 格	
(2) ブロックダイヤグラム	
4. 各 部 の 説 明.....	5
前面パネル・背面パネルの説明	
5. 使用上の注意.....	7
6. 付 属 品.....	7
7. 外 観 図.....	8

1. 機器概要

本器はヘッドエンド装置に内蔵され、VHF、UHFアンテナ等からのTV放送信号をバンドパスフィルタを通して、TVシグナルプロセッサ等の機器へ、分波送出することを目的とした入力分波器です。

本器は、分岐出力1端子と分波出力7端子を有する入力分波器と3系統のフィルタ挿入器で構成されています。

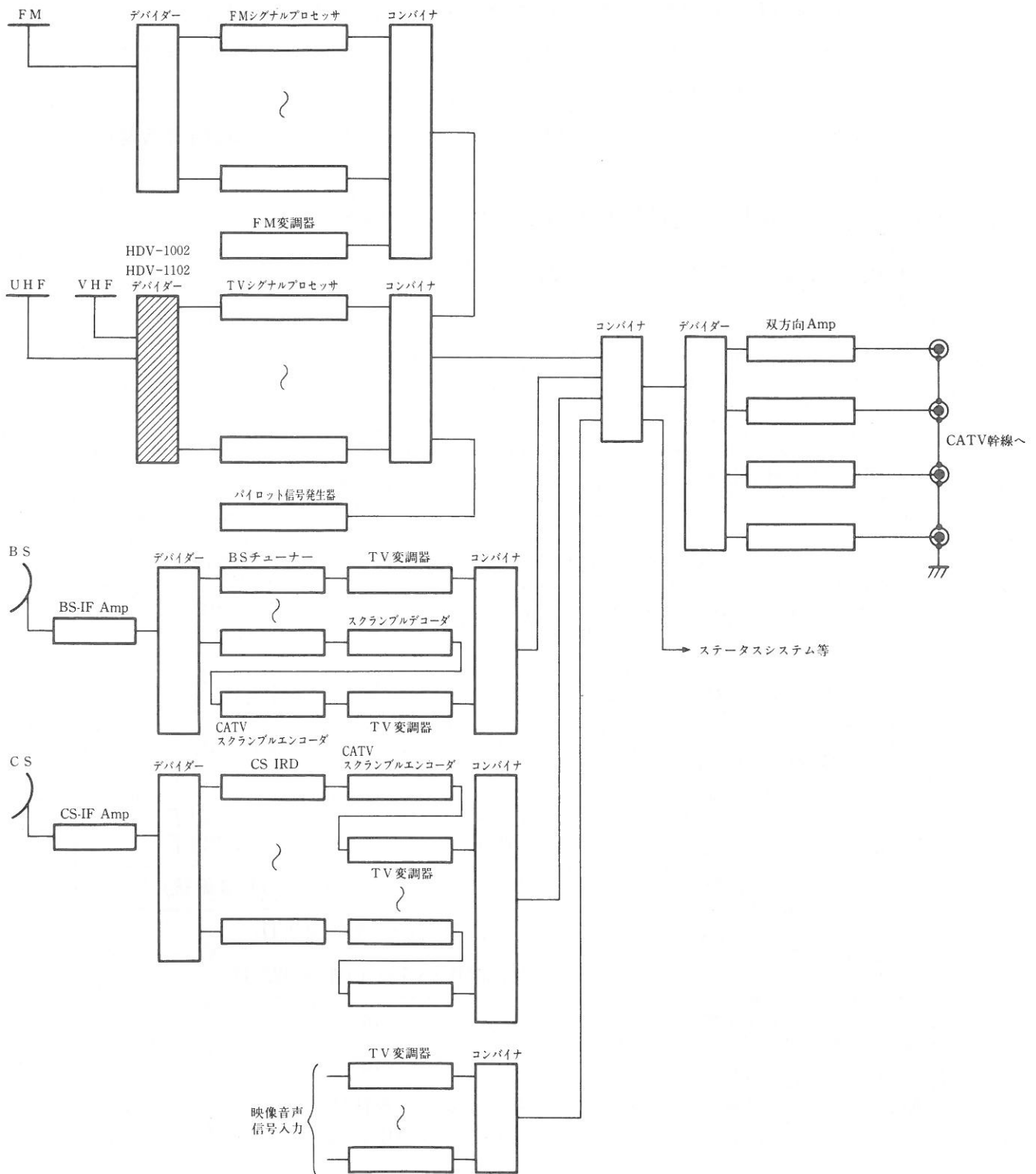


図-1 CATVシステム例

2. 特 長

- (1) 入力分波器は、分岐出力1端子と分波出力7端子で構成されており、最大7波のTV放送信号を分波し、出力することができます。
(分岐出力端子は、VHFアンテナと同一方向から入ってくるFM放送信号を分岐出力し、FMのデバイダーに入力します。)
- (2) 入力分波器、フィルタ挿入器の出力段には、高性能ヘリカルバンドパスフィルタ(HFK-101)が装備され、希望チャンネル信号以外の不要な信号をカットします。
- (3) HFK-101はユニット方式になっており、希望チャンネルのユニットを挿入することにより、チャンネルプランの変更、増設が容易に行えます。
- (4) 入力信号レベルモニタを備え、CATVヘッドエンドシステムのレベル設定が容易に行えます。
- (5) ラックパネルはJIS・EIA規格をそれぞれ採用しています。

3. 規格とブロックダイアグラム

(1) 規 格

<表-1>

項 目		規 格 値		
使 用 周 波 数 [MHz]		70～770		
入 力		分 波 端 子		フィルタ挿入 3 系統
出 力		分波 7 端子	分岐 1 端子	3 系統
通過帯域損失	[dB]	(V)21.0以下 (U)23.0以下	12.0	(V) 4.0以下 (U) 5.0以下
帯域外減衰量	[dB]	(V)18.0以上 (U)13.0以上	——	(V)18.0以上 (U)13.0以上
出力 V S W R		(V) 1.5以下 (U) 1.7以下	(V) 1.5以下 (U) 1.7以下	(V) 1.5以下 (U) 1.7以下
入力 V S W R		(V) 1.5以下 (U) 1.7以下		(V) 1.5以下 (U) 1.7以下
入力モニタ特性	[dB]	－20		－11(3 系統)
外形寸法	JIS	480(W)×99(H)×322(D)		
	EIA	482.6(W)×132.6(H)×322(D)		
重 量	JIS	7.4		
	EIA	7.5		
備考. 入出力端子及びモニタ端子のインピーダンス・形状はすべて75Ω・F形です。 帯域外減衰量の値はチャンネル中心周波数±9MHzにおける減衰量を記しています。				

(2) ブロックダイアグラム

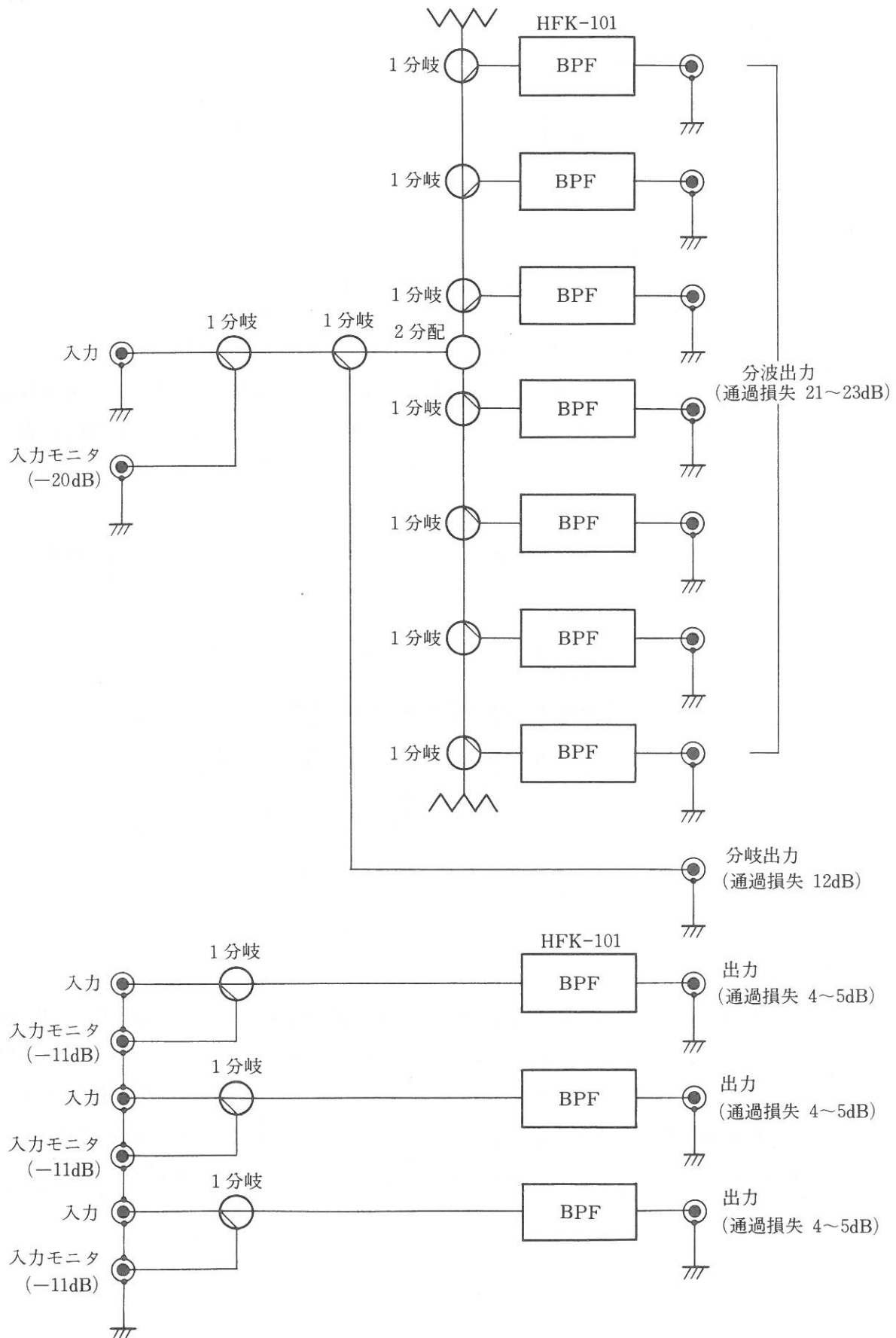
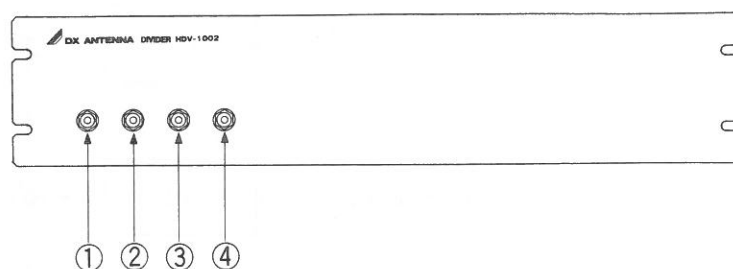


図-2 ブロックダイアグラム

4. 各部の説明

前面パネル・背面パネルの説明



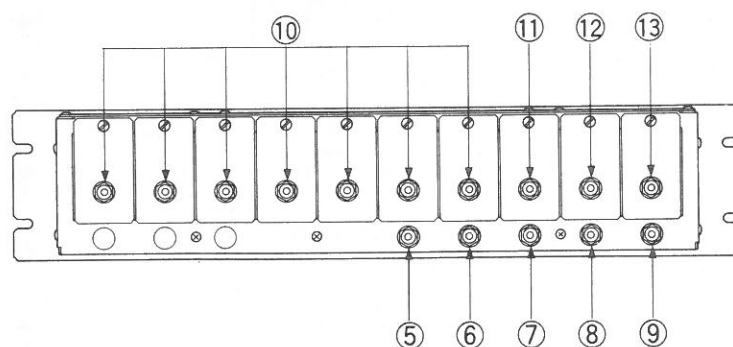
図—3 前面パネル

①・②・③ 入力モニタ(フィルタ挿入器)

①、②、③はフィルタ挿入器の入力モニタ端子です。背面の入力端子に入力された信号レベルに対して、11dB低い値がモニタされます。各端子の対応については、＜表—2＞をご覧ください。

④ 入力モニタ(入力分波器)

背面の入力端子⑥に入力された信号レベルのモニタ端子です。入力信号レベルに対して、20dB低い値がモニタされます。



図—4 背面パネル

⑤ 分岐出力端子(入力分波器)

入力端子⑥より入力された信号が約12dB低い値で出力されます。VHFアンテナと同一方向から入ってくるFM放送信号を分岐出力し、FMのデバイダに入力することを目的としています。フィルタ等はありませんので、周波数70～770MHzの広帯域でご利用できます。この端子に取り付けるケーブルは心線の太さが0.8mmのものを必ず使用してください。またこの端子を使用しない場合は必ずダミー抵抗を取り付けてください。

⑥ 入力端子(入力分波器)

この入力端子より入力された信号は、分岐出力端子⑥及びヘリカルバンドパスフィルタ (HFK-101) を経て分波出力端子⑩に出てきます。

この端子に入力された信号は、分岐出力端子⑥に約12dB低い値で、また分波出力段⑩に約23dB低い値で出力されます。この端子に取り付けるケーブルは心線の太さが0.8mmのものを必ず使用してください。

⑦・⑧・⑨ 入力端子(フィルタ挿入器)

⑦、⑧、⑨はフィルタ挿入器の入力端子です。これらの端子より入力された信号はヘリカルバンドパスフィルタ(HFK-101)を通して出力されます。

⑦、⑧、⑨の端子に取り付けるケーブルは心線の太さが0.8mmのものを必ず使用してください。各端子の対応については、＜表－2＞をご覧ください。

⑩ 分波出力端子(入力分波器)

分波出力端子はヘリカルバンドパスフィルタ(HFK-101) に設けられており、希望チャンネル信号のみが出力されます。この端子に出力される信号レベルは入力信号レベルに対して、VHF帯では約21dB、UHF帯では約23dB低い値となります。

⑪・⑫・⑬ 出力端子(フィルタ挿入器)

⑪、⑫、⑬はフィルタ挿入器の出力端子でヘリカルバンドパスフィルタ(HFK-101) に設けられており、希望チャンネル信号のみが出力されます。出力信号レベルは入力信号レベルに対して、VHF帯では約4dB、UHF帯では約5dB低い値となって出力されます。各端子の対応については下記の＜表－2＞をご覧ください。

＜表－2＞

各端子の対応(フィルタ挿入器)

フィルタ挿入器	入 力 端 子	出 力 端 子	モニタ端子
第 1 系 統	⑦	⑪	③
第 2 系 統	⑧	⑫	②
第 3 系 統	⑨	⑬	①

表内の番号は図－3、図－4に書かれている端子番号と共通です。

5. 使用上の注意

- (1) ⑤～⑨の分岐出力端子及び入力端子で使用するケーブルは5C-2V、TVEFCX、BS-CDX等の心線の太さが0.8mmのものをご使用ください。太い心線のケーブルを接続すると故障の原因となります。
(5C-FB、5C-FV、5C-FVS等のケーブルを接続する場合は、F形接栓F-5Sを使用してください。)
- (2) システム接続時、分波出力端子、フィルタ挿入器の出力端子に空端子が生じる場合は、チャンネル増設時における希望チャンネルのフィルタユニットまたは、ブランクパネルを取り付けてください。空端子にはダミー抵抗を接続する必要はありません。
- (3) 分岐出力端子⑤での出力信号レベルは、入力信号レベルに対して約12dB低い値となります。この端子に接続される機器の適正入力レベル範囲に、ご注意ください。
また、この端子が空端子となる場合は必ずダミー抵抗を取り付けてください。
- (4) 本器の出力信号レベルは、入力信号レベルに対して、次のようになります。本器の出力端子に接続されるTVシグナルプロセッサ等の機器の適正入力レベル範囲に、ご注意ください。

○入力分波器の場合

VHF帯で約21dB、UHF帯で約23dB低い値

○フィルタ挿入器の場合

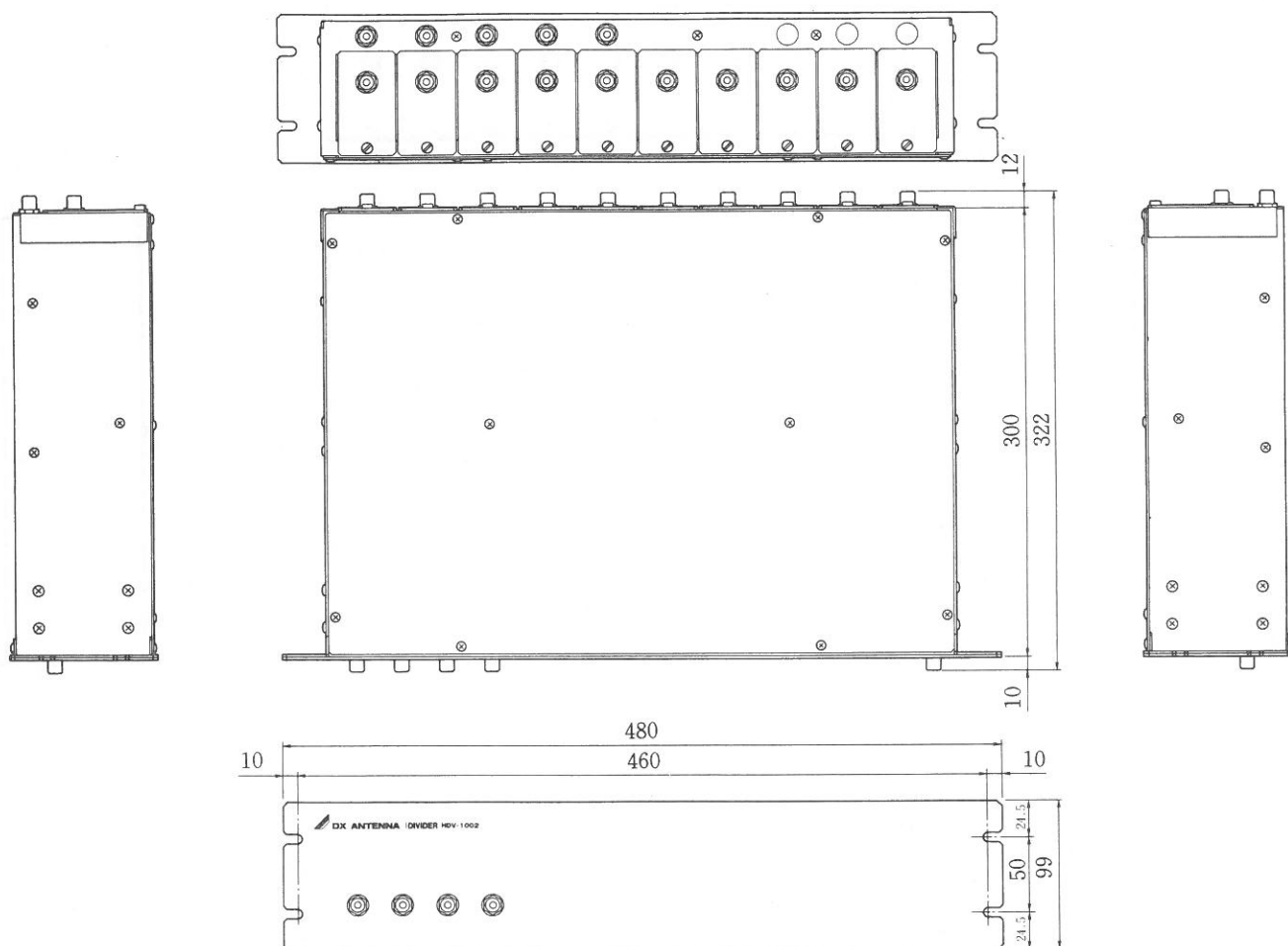
VHF帯で約4 dB、UHF帯で約5 dB低い値

6. 付属品

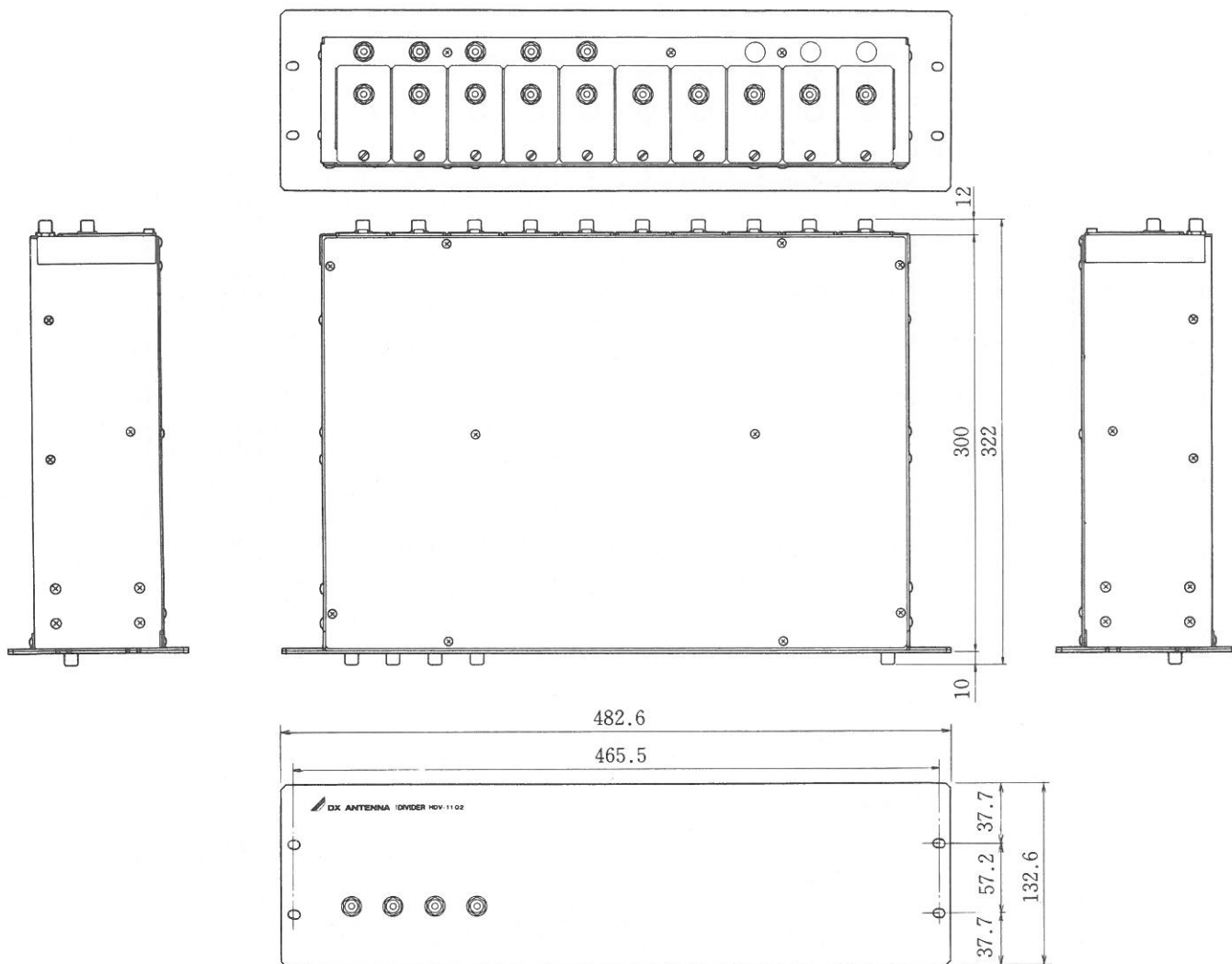
(+) 丸皿小ねじ.....	4
ローゼットワッシャ.....	4
取扱説明書.....	1

注) ラック組み込み時、員数がことなります。

7. 外 観 図



HDV-1002



HDV-1102